

(抜粋：韓国の宣伝工作と、東海／日本海併記について)

○浜田和幸

韓国側のアプローチというのは、日本が竹島に対する領有権を放棄させる、要するに**そういう韓国側の歴史認識というものを認めさせたんだと、あるいはそういうための工作をやった結果こういう（朝鮮王朝儀軌の）返還にもつながったんだと、そういうことを韓国側が内外に対して宣伝工作を展開する、そういう可能性、これは高いと思うんですけども、そのことについてはどう見ておられますか。**

○参考人（下條正男）

今おっしゃったとおり、実は**韓国側の過去の清算**というのはまさにそれですね。

それからあとは**未来志向の日韓関係、これはやはり日本が侵略をしたということ**を認めさせる。

それからあとは**歴史の和解**。そういった中の背後にあるのが竹島問題です。

それから、実際にそういうことを日本側に、言ってみたら**外交ではなくて周辺部から攻めていくものとして、日本の市民団体であるとか、そういうところを使っていきます。**

それから、あと、今韓国がやろうとしているのは、**世界に住んでいる韓国系住民を使ってその国の政府にいろいろ工作をしていく**ということですね。

今一番強くやっているのは、**国連が舞台**ですね。国連の地名標準化委員会、**ここでは日本海問題、東海問題が話し合われていますけれども、その専門部会の長が韓国人**ですね。

彼がそういった動きをうまく作り出していて、**潘基文さん（国連事務総長）がそれを助けていますね。**

そういう意味では、**もう国際的なレベルで日本の封印、封じ込め**というのを行っています。

今七百万人ぐらい海外に韓国系の人がありますけれども、**それを使って、竹島問題、過去の歴史問題に対して日本に圧力を加える。**

それから、最終的には「**日韓基本条約を再び締結していこう**」という動きの中の一つのポイントだというふうに御理解いただければいいかと思います。

○浜田和幸

今御指摘の地名標準化委員会、これはやっぱり竹島を独島と呼ばせる、そういう動きが世界的に広がっているわけですね。

今、どうですか、地名標準化委員会の中で**竹島という表記が多いのか独島という表記が多いのか、御存じでしたら教えてください。**

○参考人（下條正男）

竹島、独島、これ併記する場合と、それから一番大きい問題は、今、**日本海と東海の併記が始まっていて、初めは1%にも満たなかったんですけど、今30%ぐらいに増えてきています。**

そういう意味では、**韓国の外交的成果が着々と上がっている**ということですね。